

令和元年度 第2回青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会 議事録

1. 会議名	第2回青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会
2. 日時	令和元年7月9日(火) 13時30分～15時40分
3. 場所	北栄町農村環境改善センター 青年研修室
4. 参加者	検討委員9人、オブザーバー1人、事務局7人
5. 内容	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 会長挨拶・・・蓑 豊会長 挨拶。</b></p> <p><b>3. 報告事項・・・事務局より青山剛昌ふるさと館今年度予算（大栄歴史文化学習館特別会計）資料と前年度の館アンケートの実施結果を報告。</b>  <b>《委員意見》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算について、リニューアルするための経費としてはどのぐらいか。  ⇒[事務局回答]：予算概要書の「一般管理事業」が、ふるさと館の施設の管理運営事業費であり、リニューアル経費についてはその内数。また、今年度の当初予算の資料は、有料入館者数を12万人として計上している。</li> <li>・平成29年度の127,544人が有料入館者数か。  ⇒[事務局回答]：無料入館者数を含めた総入館者数。</li> </ul> <p><b>4. 議事</b></p> <p><b>(1) 青山剛昌ふるさと館の課題抽出について・・・事務局より説明。(資料P.3)</b>  <b>《委員意見》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な課題と対策に「学芸員を置く」とあるが、お金や時間を配慮しながら前向きに検討していくべき。</li> <li>・原画の管理には学芸員が必要。コンセプトの明確化を。</li> <li>・町の本気度の中に、中・長期的なビジョンがあるかどうかが重要。</li> </ul> <p><b>(2) アンケート調査について・・・事務局より説明。(資料P.4～P.13)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者アンケートの調査対象は、日本人500名分、外国人100名分に修正。</li> <li>・アンケートは、職員1～2名を配置する予定だが詳細は現在検討中。受付で外国人であることを確認できたら、外国人用のアンケートを渡す方法を検討。</li> </ul> <p><b>《委員意見》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者用アンケートについて、ノベルティやテーブル、ペンなどを置いておいた方が良い。</li> <li>・ふるさと館の概要と現状については、別紙1枚でまとめてみてはどうか。</li> <li>・町民アンケートの中には「入館したことがあるか」という質問があったが、「ふるさと館があることが嬉しいか」などの質問があっても良いかもしれない。  ⇒[事務局回答]：アンケートについては再度検討する。文字でなくても、グラフやGWの写真など視覚的に見てわかりやすいものを1枚追加したい。</li> <li>・アンケートをとるときは消極的な意見がある。どういう形で配布して、どういう町民の方をセレクトするのか。  ⇒[事務局回答]：町民アンケートは無作為抽出で行う。全体の2～3割程度の回収を見込んでいる。</li> <li>・地元の人意識を高めるというよりは、周りの注目をどうやって引っ張って来られるかどうか。</li> <li>・ドキドキさせるような仕掛けづくりが重要。住んで良かったなど地元の人に思っ</li> </ul>

もらえて、子どもたちにとってもコナンが誇りになることが大事。

(3) 視察研修について・・・事務局より説明。(資料 P. 14)

《委員意見》

- ・高知県庁は行政としての蓄積があるところ。高知県庁に訪問できた方が良い。
- ・各施設、取材の時間があるのか。  
⇒[事務局回答]：基本的に、ある程度は施設の説明の時間をいただくことは可能。お願いできる範囲では収蔵スペースなども見せていただく予定。
- ・時間があれば、高知県は牧野植物園も見ていただきたい。
- ・やなせたかしミュージアムが、一番ふるさと館に近い雰囲気。高知市から車で家族連れが訪れるイメージ。横山隆一記念館は、かなり高度な内容。  
⇒[事務局回答]：施設の良い部分と悪い部分について見てきていただきたい。参加後、レポートの提出を依頼。

(4) その他

《委員意見》

- ・原画の件を含めて、協議は慎重に行っていくべき。  
⇒[事務局回答]：出版元側の将来的な考え方など要確認。
- ・準備と交渉が逆にならないようにされたい。
- ・町民にどれだけメリットがあるかどうか。大栄地区・北条地区でふるさと館に対するとらえ方も違うと思うので、別々にそれぞれ同じ人数を無作為で抽出してはどうか。また、大体どれくらいの建物で、償還するためには来館者数を何万人集めないといけないということを青写真として出していきたい。
- ・運営については、行政だけでなく民間も一緒になって考えていかなくてはいけない。
- ・中央公民館大栄分館や大栄農村環境改善センターの老朽化の話も出ているので、町民も利用できる複合施設みたいなものを作っていただきたい。
- ・北栄町の若い人たちが話し合える場所があると良い。
- ・どういう風にしたら、うまくコナンを活用してまちづくりを行っていけるかということも教えてもらいたい。  
⇒[事務局回答]：著作権の関係などをふまえた上でうまく伝えていきたい。

5. その他

事務局より、9月研修の希望コースの提出を依頼。

6. 閉会

北栄町副町長 手嶋 俊樹 挨拶。

◎第3回検討委員会開催日

10月17日(木) 13:30～ 大栄農村環境改善センター 会議室2, 3